

工事事務(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事務が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事務が再び発生することのないように工事事務概要を皆様にお知らせいたします。

本資料を活用し、受注者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願いいたします。

【工事事務(速報)発生状況】 (H25.3.31現在)

	3月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成24年度(今年度)	7件	85件	1人	32人
平成23年度(昨年度)	9件	74件	1人	19人

注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事務発生件数(速報)を示す。

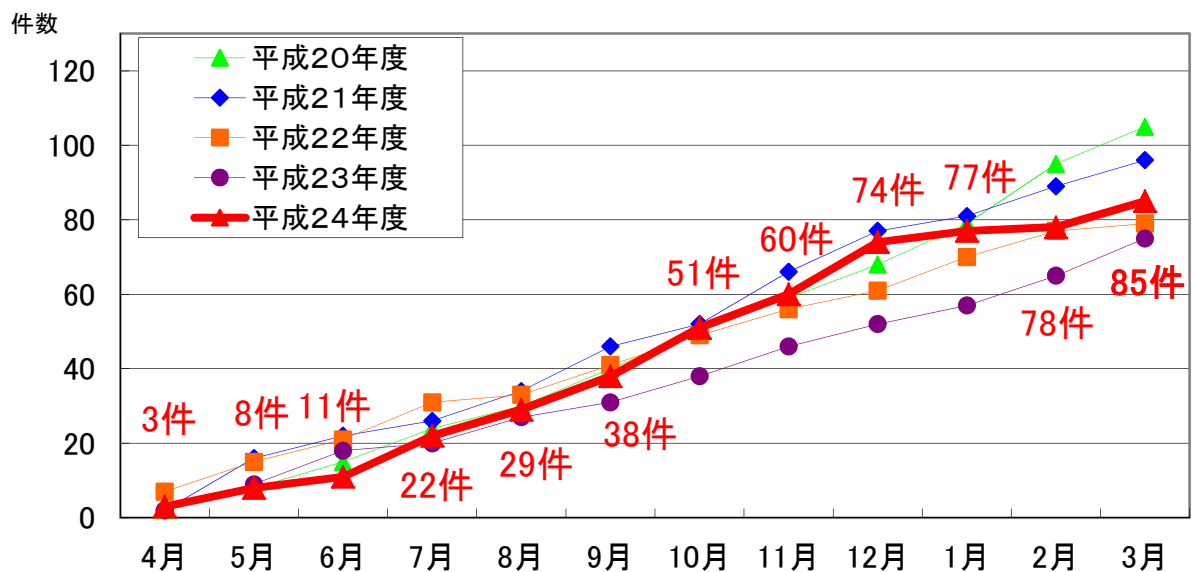
注2) 「3月発生件数」は、3/1～3/31の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～3/31の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」「負傷者数」は、4/1～3/31の累計人数を示す。

注5) 平成24年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

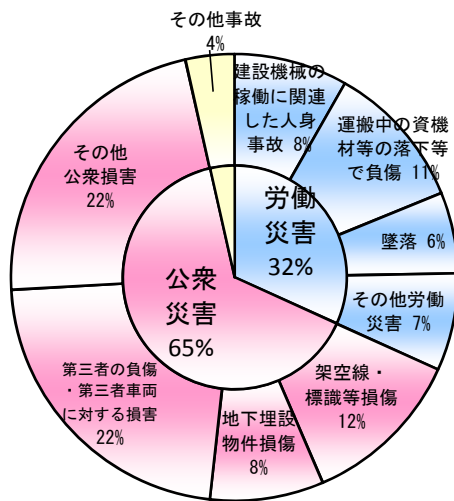
●工事事務件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成20年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	8件 (6件)	15件 (7件)	24件 (9件)	30件 (6件)	40件 (10件)	50件 (10件)	59件 (9件)	68件 (9件)	79件 (11件)	95件 (16件)	105件 (10件)
平成21年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	16件 (14件)	22件 (6件)	26件 (4件)	34件 (8件)	46件 (12件)	52件 (6件)	66件 (14件)	77件 (11件)	81件 (4件)	89件 (8件)	96件 (7件)
平成22年度 累計 (月毎)	7件 (7件)	15件 (8件)	21件 (6件)	31件 (10件)	33件 (2件)	41件 (8件)	49件 (8件)	56件 (7件)	61件 (5件)	70件 (9件)	77件 (7件)	79件 (2件)
平成23年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	9件 (7件)	18件 (9件)	20件 (2件)	27件 (7件)	31件 (4件)	38件 (7件)	46件 (8件)	52件 (6件)	57件 (5件)	65件 (8件)	74件 (9件)
平成24年度 累計 (月毎)	3件 (3件)	8件 (5件)	11件 (3件)	22件 (11件)	29件 (7件)	38件 (9件)	51件 (13件)	60件 (9件)	74件 (14件)	77件 (3件)	78件 (1件)	85件 (7件)

※なお、平成21年度工事事務より、国の管理物損傷事故件数を措置の対象としている。

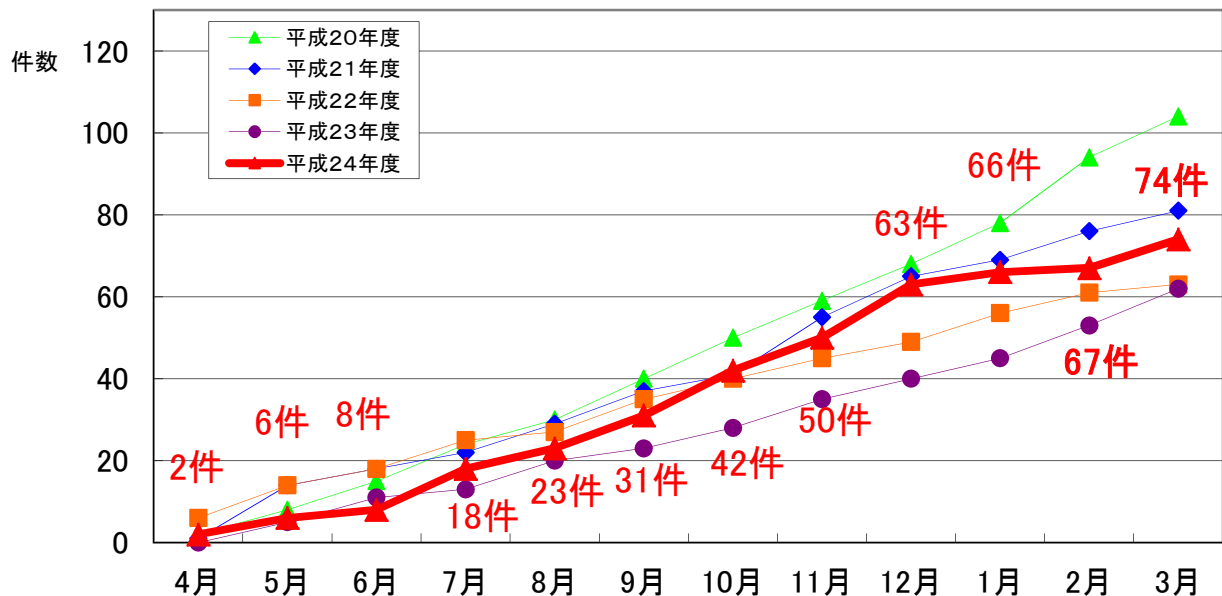
●平成24年度 工事事故発生状況(発生形態別)



	発生形態	H22	H23	H24	過去3年間計
労働災害	建設機械の稼働に関連した人身事故	6	4	7	17
	部材の加工作業等により自らを負傷	4	1	0	5
	運搬中の資機材等の落下や下敷きで負傷	2	5	9	16
	墜落	8	3	5	16
	準備作業、測量調査業務等における人身事故	0	0	0	0
	その他労働災害	5	1	6	12
	小計	25	14	27	66
公衆損害	架空線・標識等損傷	14	9	10	33
	地下埋設物件損傷	6	8	7	21
	第三者の負傷・第三者車両に対する損害	13	22	19	54
	その他公衆損害	19	18	19	56
	小計	52	57	55	164
	その他事故	2	3	3	8
	計	79	74	85	238

● H24年度重点的安全対策項目

(参考)工事事故のうち、「その他公衆損害」における車両管理業務等の車両の自損事故を除く事故件数
(車両管理業務等の車両の自損事故を除いた工事事故件数)



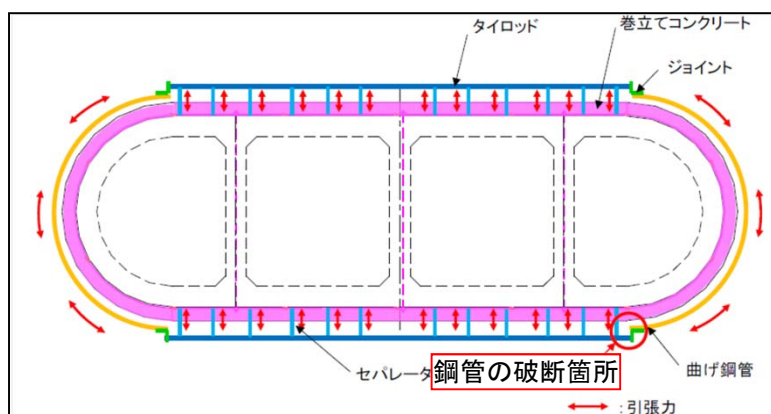
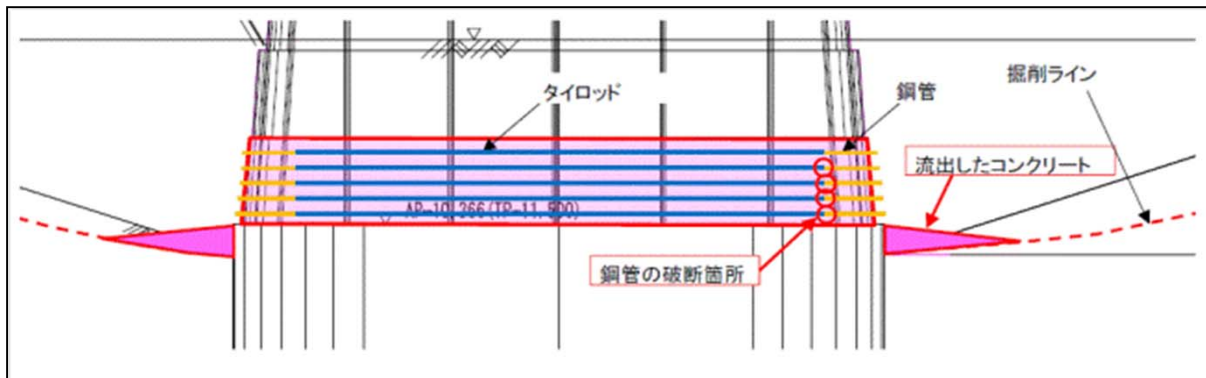
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成20年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	8件 (6件)	15件 (7件)	24件 (9件)	30件 (6件)	40件 (10件)	50件 (10件)	59件 (9件)	68件 (9件)	78件 (10件)	94件 (16件)	104件 (10件)
平成21年度 累計 (月毎)	1件 (1件)	14件 (13件)	18件 (4件)	22件 (4件)	29件 (7件)	37件 (8件)	41件 (4件)	55件 (14件)	65件 (10件)	69件 (4件)	76件 (7件)	81件 (5件)
平成22年度 累計 (月毎)	6件 (6件)	14件 (8件)	18件 (4件)	25件 (7件)	27件 (2件)	35件 (8件)	40件 (5件)	45件 (5件)	49件 (4件)	56件 (7件)	61件 (5件)	63件 (2件)
平成23年度 累計 (月毎)	0件 (0件)	5件 (5件)	11件 (6件)	13件 (2件)	20件 (7件)	23件 (3件)	28件 (5件)	35件 (7件)	40件 (5件)	45件 (5件)	53件 (8件)	62件 (9件)
平成24年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	6件 (4件)	8件 (2件)	18件 (10件)	23件 (5件)	31件 (8件)	42件 (11件)	50件 (8件)	63件 (13件)	66件 (3件)	67件 (1件)	74件 (7件)

■問合せ先:企画部 技術調査課 遠藤・桑田 (TEL 048-600-1332)

別紙 1

発生日時	平成 25 年 3 月 1 日 (金) 22 時 35 分				天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	河川へコンクリート流出(水質調査の結果は、大きな影響はない)		
事故概要	水中部橋脚根巻きコンクリート打設後、型枠の一部が崩壊し、コンクリートが漏出したもの。					
	公衆損害事故－その他公衆損害					

事故発生状況



- ・橋脚の巻立てコンクリート【水中AP-10.0から立上がりH=2.8m(水中不分離性コンクリート)】打設終了間際に、直線部と曲線部の取合い部の型枠支保工の曲げ加工鋼管パイプ(φ65mm、t=2.3mm)の端部が破断し、型枠が損壊して水中不分離性コンクリートが水中へ流出したもの。
- ・パイプの破断は5段のうち4段で発生。
- ・水質調査の結果、コンクリート流出付近で最大pHは8.0程度以下であり、河川関係基準の6.5以上 8.5以下の範囲内。

【事故発生原因】

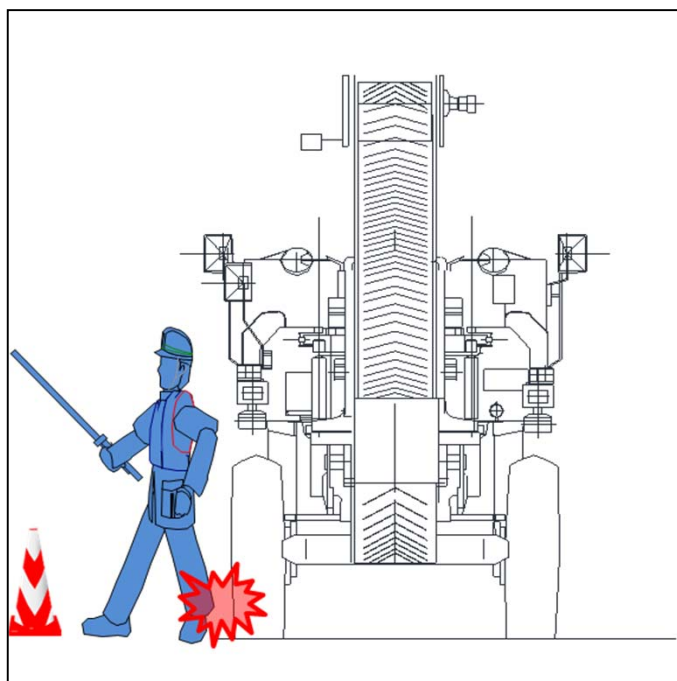
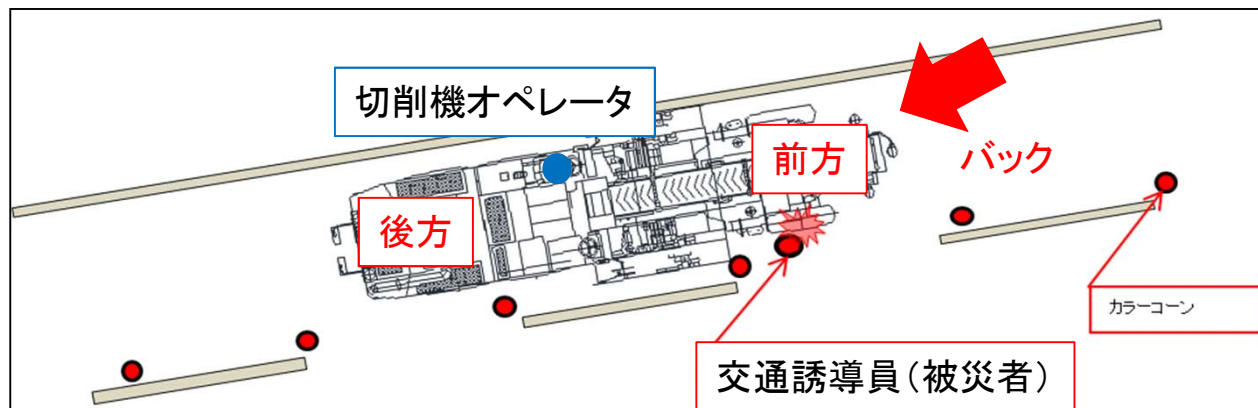
- ・構造の検討が不十分であったため。
など

【事故防止のポイント】

- ・破損しないような構造の検討を行う。
など

発生日時	平成 25 年 3 月 2 日 (土) 11 時 30 分					天候	晴
工事情報	道路系事務所 As舗装工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	男	68	交通誘導員	左足アキレス腱断絶、左足骨折			
事故概要	切削機をトレーラーにて搬出するため、積み込み位置に切削機を移動している作業中に、切削機タイヤが交通誘導員の左踵に接触し、負傷したもの。						
	工事関係者事故－建設機械の稼働に関連した人身事故						

事故発生状況



- ・ランプ部における切削作業終了後、切削機をトレーラーにて搬出するため、交通誘導員2名を配備し所定の積み込み位置に切削機を誘導。
- ・切削機右後方にいた交通誘導員の左踵と切削機右前タイヤが交通誘導員の左に接触し、負傷したもの。

【事故発生原因】

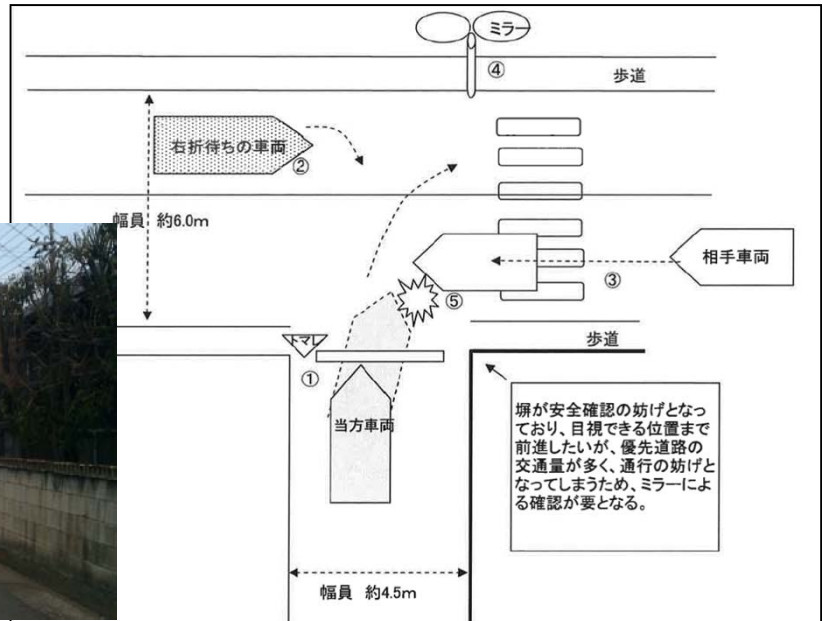
- ・誘導方法の確認が不十分であったため。 など

【事故防止のポイント】

- ・合図等誘導方法の確認を行い、作業員に周知する。 など

発生日時	平成 25 年 3 月 8 日 (金) 13 時 55 分				天候	晴
工事情報	河川系事務所 業務					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	第3者車両、官用車損傷		
事故概要	交差点右折時に、右側から走行してきた第3者車両と接触、官用車の右前バンパーと、第3者車両の左前バンパーが損傷したもの。					
	公衆損害事故－第三者の負傷・第三者車両に対する損害					

事故発生状況



当方車両損傷状況



相手方車両損傷状況

- ・T字交差点を右折しようとしたところ、右側から走行してきた第3車両と接触したもの。
- ・一時停止線にて一旦停止し、ミラーにて確認後、右折するために前に出た直後に、接触したもの。

【事故発生原因】

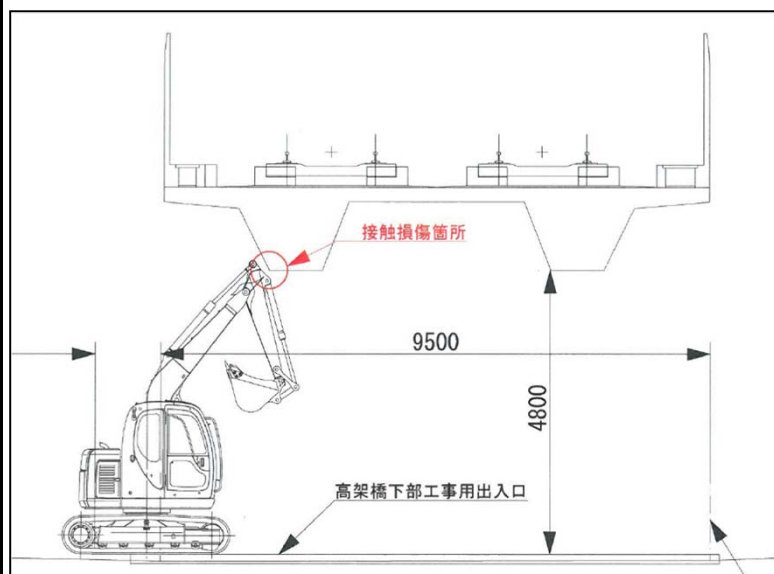
- ・運転手の右前方確認不足によるもの。 など

【事故防止のポイント】

- ・車両安全運転教育の徹底。
- ・見通しが悪い場合は、無理な運転をせず、周囲の確認ができてから走行するよう指導すること。 など

発生日時	平成 25 年 3 月 8 日 (金) 15 時 0 分				天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	鉄道コンクリート桁損傷(2cm程度かけた)		
事故概要	資機材の移動作業において、バックホウの移動の際にブームをあげたまま移動していたため、鉄道のコンクリート桁にぶつかり、損傷させたもの。					
	公衆損害事故－架空線・標識等損傷					

事故発生状況



- ・0.25バックホウにて資機材の移動作業を実施。
- ・バックホウの移動の際にブームをあげたまま移動していたため、鉄道のコンクリート桁にぶつかり、損傷させたもの。
- ・誘導員は配置されていなかった。
- ・作業手順書ではダンプに積み込み、運搬する予定であったが、ダンプに別の資材が積んでいたため、バックホウで吊ったまま移動し、接触したもの。

【事故発生原因】

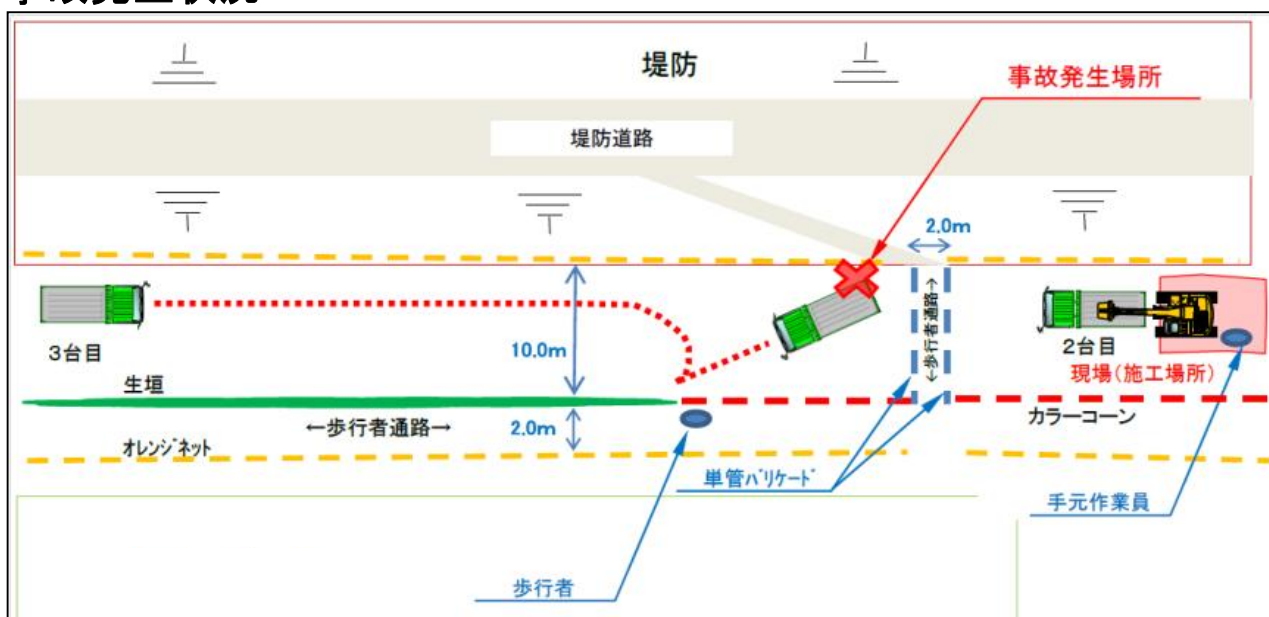
- ・上空支障物に対する注意喚起が不十分であったため。 など

【事故防止のポイント】

- ・上空支障物の近接箇所における作業時の注意事項について周知・徹底する。

発生日時	平成 25 年 3 月 15 日 (金)				8 時 40 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	-	-	-	標識損傷			
事故概要	土砂積み込み準備作業を行っていたダンプトラックが標識に接触し、損傷させたもの。						
	公衆損害事故－第三者の負傷・第三者車両に対する損害						

事故発生状況



- ・緊急河川敷道路の路床掘削作業を実施。
- ・2台目のダンプが土砂積み込み作業中、土砂積み込みの準備をしようとして、3台目のダンプがUターン後のバックを行おうとした際に、前方の歩行者に気を取られ、後方の標識に接触し、損傷させたもの。
- ・バックは誘導員の合図により運行することとなっており、1台目、2台目のダンプのUターン・バック時は現場担当者の監視下で行っていた。
- ・2台目の土砂積み込み作業中に合間を見て、現場担当者が、現場を離れ詰所に向かった際に、誘導無しで3台目のダンプがUターンを行った際、事故が発生したもの。

【事故発生原因】

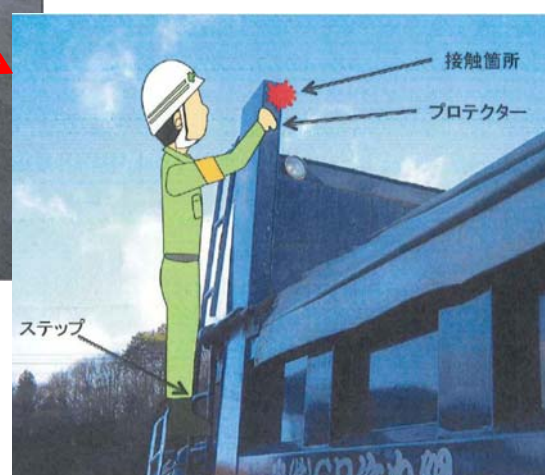
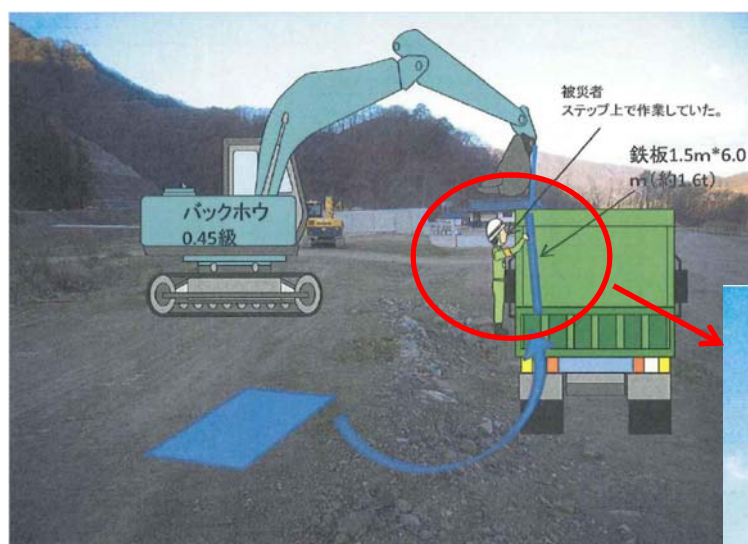
- ・運転手の右後方確認不足によるもの。
- など

【事故防止のポイント】

- ・誘導員の合図で運行するよう、作業員に周知・徹底を行う。
- など

発生日時	平成 25 年 3 月 20 日 (水) 17 時 15 分					天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	男	44	運転手	右親指末節骨折開放正骨折			
事故概要	敷鉄板をバックホウ(0.45m3)にて10tダンプトラックの荷台へ積み込む作業中に、その補助作業を行っていたダンプ運転手が、10tダンプ荷台と鉄板とに右親指を挟み、負傷したもの。						
	工事関係者事故－運搬中の資機材等の落下や下敷きで負						

事故発生状況



- ・鉄板(W1.524m×L6.096m×t22mm)を10tダンプトラックの荷台に積み込み込み、撤去作業を実施。
- ・10tダンプトラックの荷台上(ステップ)で助手的な作業を行っていた、作業員(運転手)が荷台と鉄板の間に右親指を挟み負傷したものの。
- ・クレーン作業の合図者は配置されていなかった。また、介錯ロープを使用していなかった。

【事故発生原因】

- ・適切なクレーン作業の確認が不十分
- ・作業の合図者未配置
など

【事故防止のポイント】

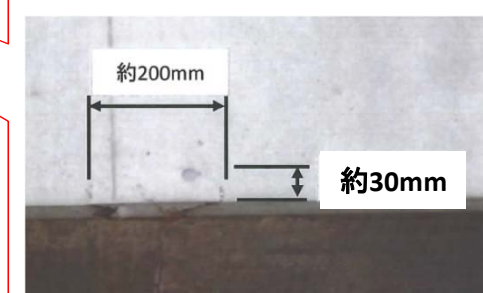
- ・合図者を配置して、作業を実施。
- ・適切な作業計画書を作成し、作業員に周知・徹底を行う。

発生日時	平成 25 年 3 月 28 日 (木)				16 時 30 分	天候	曇
工事情報	道路系事務所 一般土木工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	-	-	-	他工事施工のボックスカルバート損傷			
事故概要	バックホウにて掘削作業中に、近接している他社施工のボックスカルバートにバックホウのアームが接触し、ボックスカルバートを損傷させたもの。						
	公衆損害事故－架空線・標識等損傷						

事故発生状況



- ・掘削作業をボックスカルバート脇で0.7m³バックホウにて行っていた。
- ・作業が一時終了し、再開まで時間があったため、重機誘導員等は現場を離れていた。
- ・翌日の作業の段取りのため、オペレーターは大丈夫だと思い、誘導員不在のまま、重機を動かしたところ、ボックスカルバートにバックホウのアームが接触。
- (オペレーターは接触に気づかず。)
- ・翌日に、ボックスカルバート施工業者より接触の形跡とボックスカルバートの損傷が報告され発覚。
- ・現場には、近接構造物の注意喚起の看板は未設置であった。



【事故発生原因】

- ・近接構造物(上空支障物)に関する注意喚起の看板やのぼり等が未設置
- ・誘導員が不在のまま、重機を動かしてしまった。(適切な誘導の徹底不足)

【事故防止のポイント】

- ・上空支障物の近接箇所における作業時の注意事項について周知・徹底する。

など